

『校長 EBI 日誌 ⑯』



先日、朝の校長室に朝練の吹奏楽部が奏でる「星に願いを」が響いてきました。一日の始まりを素晴らしい気分にしてくれたその音色に、じっと耳を澄ましていました。

１０月中旬から後期の授業観察が始まりました。授業１コマに２クラスの観察を入れています。この期間にすべての先生の授業を見せてもらいますので、副校長・教頭と入れ替わり立ち替わり校舎内を移動しています。５階のクラスが続けて入る時は、階段を登り切ると息が上がり足ももつれそうに・・・。校長室は１階だから、と自分に言い訳をしながらも、運動不足・体力不足を思い知る私です。

後方からそっと教室に入る私を見て黙礼をくれたり小声で挨拶をくれたりする生徒たちの姿に、心が温かくなります。１年生のあるクラスでは、笑顔で口々に「こんにちは」の声を掛けてくれたうえ、窓側後方の男子がさっとパイプ椅子を広げて勧めてくれました。２年生の文学国語で扱っていたのは井伏鱒二の『山椒魚』。肥大化した山椒魚が岩谷からの脱出を決意する場面の読解でした。プリントの端に顔のない山椒魚のイラストがあったのが気になっていたら、最後に「この時の山椒魚の表情を想像し、描いて提出」という指示が。後で N 先生に尋ねると、美術部生徒による魂のこもった表情や、心理を汲み取りサングラスを掛けさせたという山椒魚もあったとか。私ならどうしただろうと、想像が膨らみます。

３年生のクラスは大学入試問題に取り組む良い緊張感に満ちていて、頑張っている生徒たちの後ろ姿を堪能できます。移動教室で空いている机の上に、付箋でたっぷり膨らんだ単語帳が乗っているのも、３年生らしい光景です。

写真は１年生、I 先生の保健の授業です。事前の生徒アンケート結果を入口に、「薬物乱用と健康」の単元を展開していました。薬物の開始要因など自分に引き寄せ思考を促す発問が続き、私も生徒と一緒に考えながら参加しました。電子黒板のスライドも練り上げられています。

今日、教室の後ろで見ている私に「校長先生って大変ですか？」とそっと声を掛けてくれた男子生徒。校長室を訪ねますと言ってくれました。待っていますよ！

【令和８年 10 月27 日】

